



組合員の皆様方におかれましては、輝かしいお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年が皆様方にとって良き年でありますよう心よりご祈念申し上げます。日ごろは組合事業活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り衷心より感謝し厚くお礼申し上げます。



昨年は令和元年年号も変わり新たな気持ちで取り組もうとした矢先、中国武漢市を発端に全世界に蔓延した covid19 が未だに終息を見る状況にありません。毎日感染者や死者の数が増えていくのを見ていてつらくなる日々です。組合としては一早く在宅ワークを可能にするパソコンを導入し職員全員に配布し、不測の事態に備え、乳代金精算が滞ることのないよう体制を整備しました。

本年は HQM 農協として、3年目の年となります。生乳取引価格交渉も据え置きで交渉を今も継続中と聞きます。生産費や後継牛の育成費用など増加の一途をたどり、経営を圧迫している現状ですが、組合といたしましては、更なる集送乳や組合業務の合理化に取り組み、推進し、酪農家の皆様方の収益基盤を磐石にするため改革を推し進めてまいりたいと思います。酪農家自身の自立を促し、何よりも消費者を常に念頭に意識した、消費者ニーズに沿った安心・安全な生乳の生産、すなわちハイクオリティミルクを旗印に掲げ、酪農産業を盛り上げていく事業を推進していきます。

一方で、堆肥処理についても新たなチャレンジを実施し、生産者の規模拡大による作業負担の増大化を軽減させていく取組みや、HQMの独自性を活かした融資制度の利活用の推進。広く消費者に対しハイクオリティミルクに対する理解醸成を目的としたアンテナショップ構想の実現などを積極的に取り組んでいきたいと思っています。

しかしながら、農業情勢、酪農を取り巻く環境は厳しい状況が続くと予想されます。組合員の皆様と力を合わせ、生乳生産基盤・畜産業の復活・拡大を目標とし、設立当初の目標であった現状組合員で30,000トンの生乳生産も現実のものになろうとしています。生産者として自信を持ち誇れる生乳の生産・出荷に向けて尚一層皆様のご理解とご協力を得ながら役職員一同一丸となり、本年の干支である丑を神棚と玄関に鎮座する、常に組合として生産者と乳牛と共に酪農業発展の為尽力してまいります。

令和3年1月吉日



ハイクオリティミルク農業協同組合

丸尾建城

